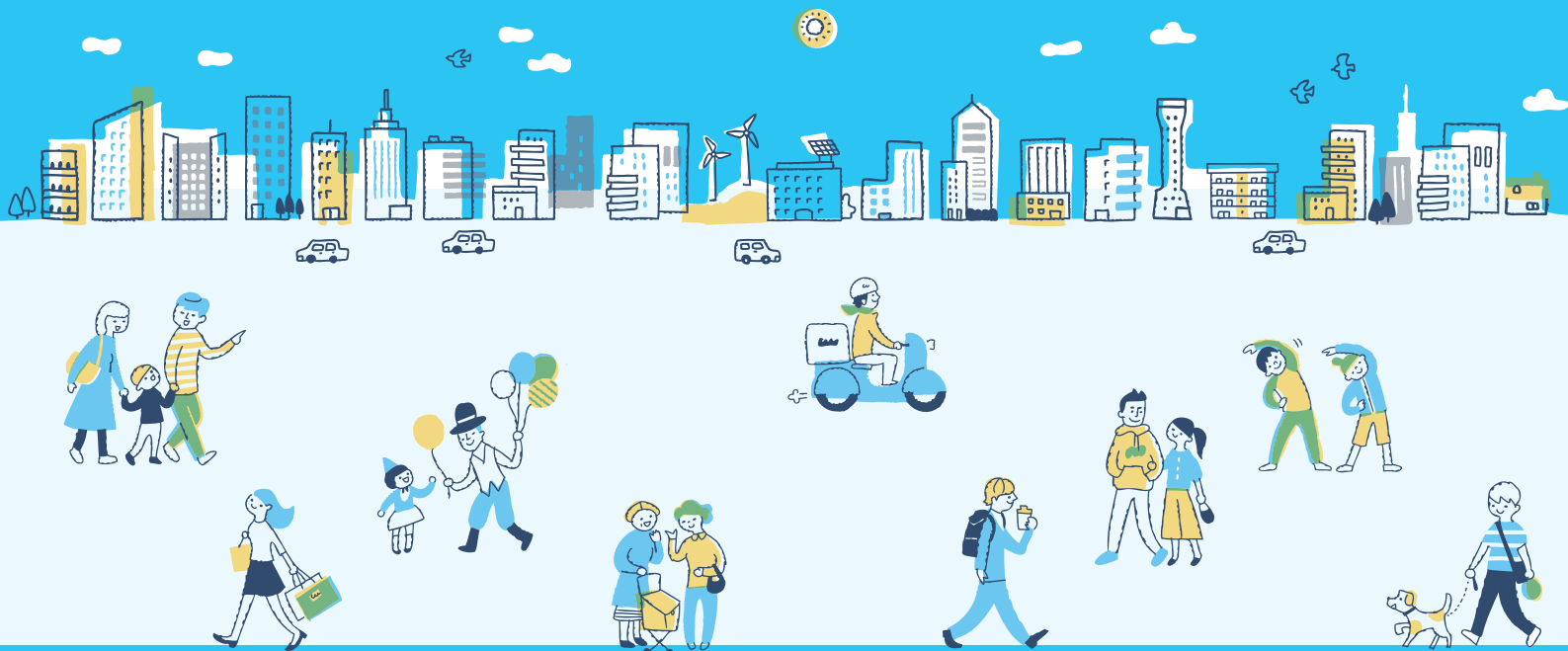


第 96 期

業務報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで



ひろがる夢とたしかな未来



播州信用金庫

経営理念

- 一、地域の皆様に奉仕すること
- 一、従業員の幸福を祈念すること
- 一、金庫の健全な発展を期すること

当金庫の概要

(2026年3月31日現在)

創	立	1930年12月26日
本	店	姫路市南駅前町110番地
会	員	数 45,098先
出	資	金 40億5,529万円
店	舗	数 68ヵ店
店	外 A T M	23ヵ所(共同設置ATMを含む)
常	勤 役 職 員	数 874名

も く じ

ごあいさつ	1
業務の概況	2
自己資本比率	4
不良債権の状況	5
財務諸表	6
役員一覧	8
庶務の概要	8
総代会制度について	9
内部統制システムの運用状況の概要	9
トピックス	10
営業地区及び店舗一覧	12

ごあいさつ

理事長
和田 高広



向暑の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当金庫第96期の事業概況と決算の状況についてご報告するにあたり、平素のご支援、ご愛顧に對し心からお礼申し上げます。

2025年度の日本経済は米国の関税引き上げによる影響、物価の上昇や人手不足といった複合的な課題を抱えつつも、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、全体としては回復基調を示しました。

また、世界経済も一部で減速の兆しが見られるものの、主要国が金融・財政両面での支援が継続している環境から、全体としては緩やかな成長を維持しました。他方、ウクライナや中東情勢などの不安定化に伴うエネルギー供給や物流への影響、生成AIをはじめとする先端技術の進展による産業構造の変容、主要各国における金融政策の転換に向けた動きなど、世界経済情勢には多様な変化が生じております。

このような環境下において、2025年度の当金庫の業績は、期末預金残高が前期比82億円増加の1兆2,478億円、期末貸出金残高が前期比49億円増加の7,564億円となりました。収益面については、日本銀行による政策金利の引き上げに伴い預金金利を見直した結果、預金利息は増加したものの、貸出金利回りの改善により貸出金利息も増加し基礎的収益は堅調に推移いたしました。有価証券運用については、金利上昇局面におけるリスク管理と収益力向上の両立を図るため、国債等債券の入替を実施しました。この過程で売却損は増加したものの、将来の金利動向を踏まえた適切なリスク調整により、有価

証券全体として含み益を維持しております。収益基盤の改善を着実に進めた結果、当期純利益は20億62百万円と昨年度を上回る決算となりました。

配当金につきましては、従来どおり6%としております。金融機関の健全性を表す不良債権比率は5.20%となりましたが、自己資本比率は10.25%と国内基準の4%を上回っており、経営の安全性は十分確保されております。

当金庫では、「企業」と「企業」をつなぐお役立ちの実践として、兵庫県西部から大阪府北部までに広がる、幅広い当金庫営業エリアのお取引先さまをお繋ぎするために、M&Aや金庫内マッチングを積極的に展開しております。また、2025年度より「ばんしんビジネスマッチングシステム」を導入し、お客さまからの相談・課題をシステムへ登録することで、全役職員が即時に情報を共有・探索し、迅速な課題解決に取り組んでおります。今後もお客さまへのサービス向上と地域の持続的な活性化に努めてまいります。

当金庫ではこれまで以上に経営の健全性を高めるために、コンプライアンス態勢並びにリスク管理態勢の充実を図り、引き続き長年にわたり当金庫を支えてくださっている地域の皆様に貢献できるよう、役職員一丸となって努力を重ねていく所存でございます。

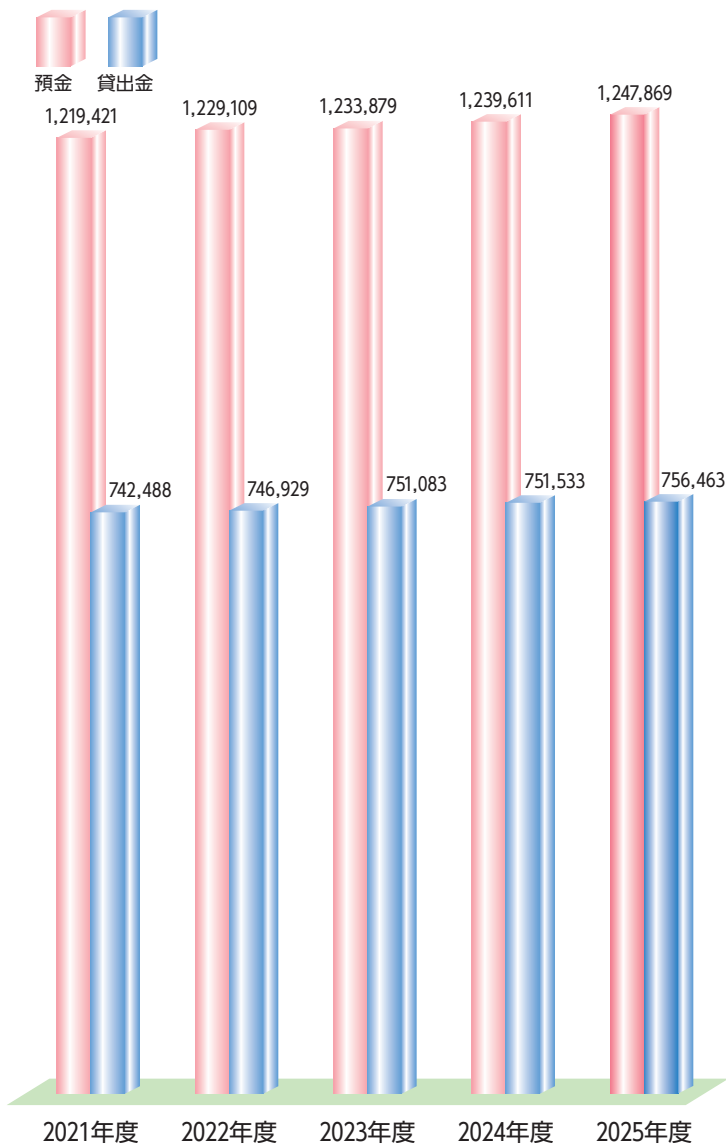
何卒、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

業務の概況

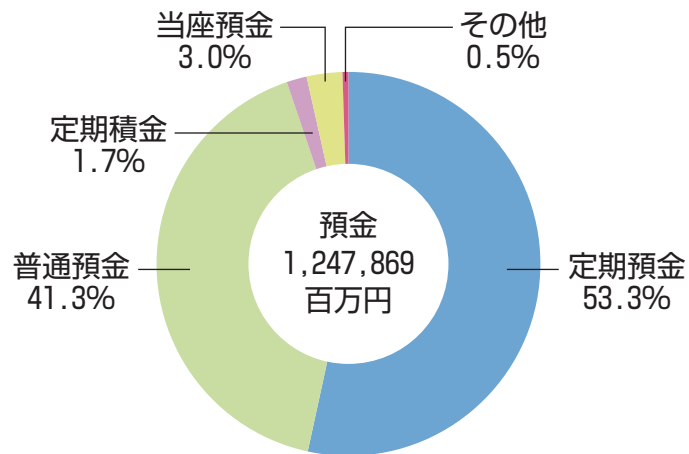
預金・貸出金の推移

(単位:百万円)



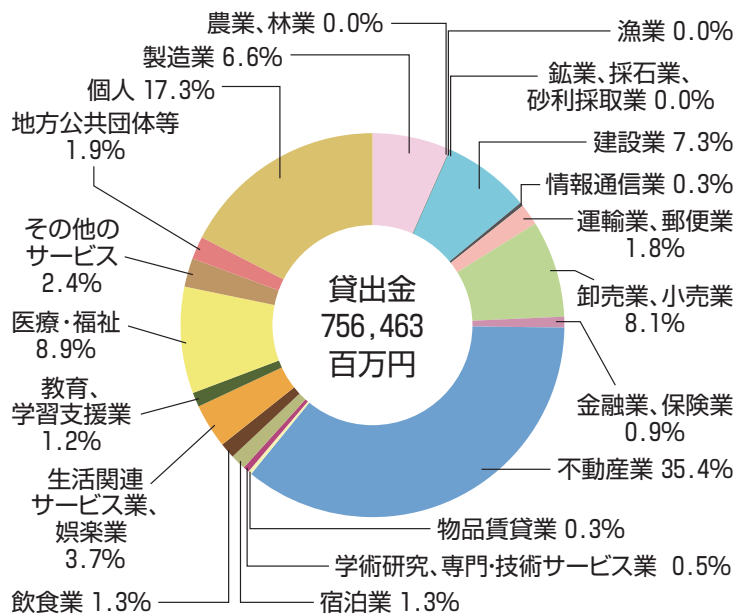
預金の構成

(2026年3月31日現在)



貸出金の業種別構成

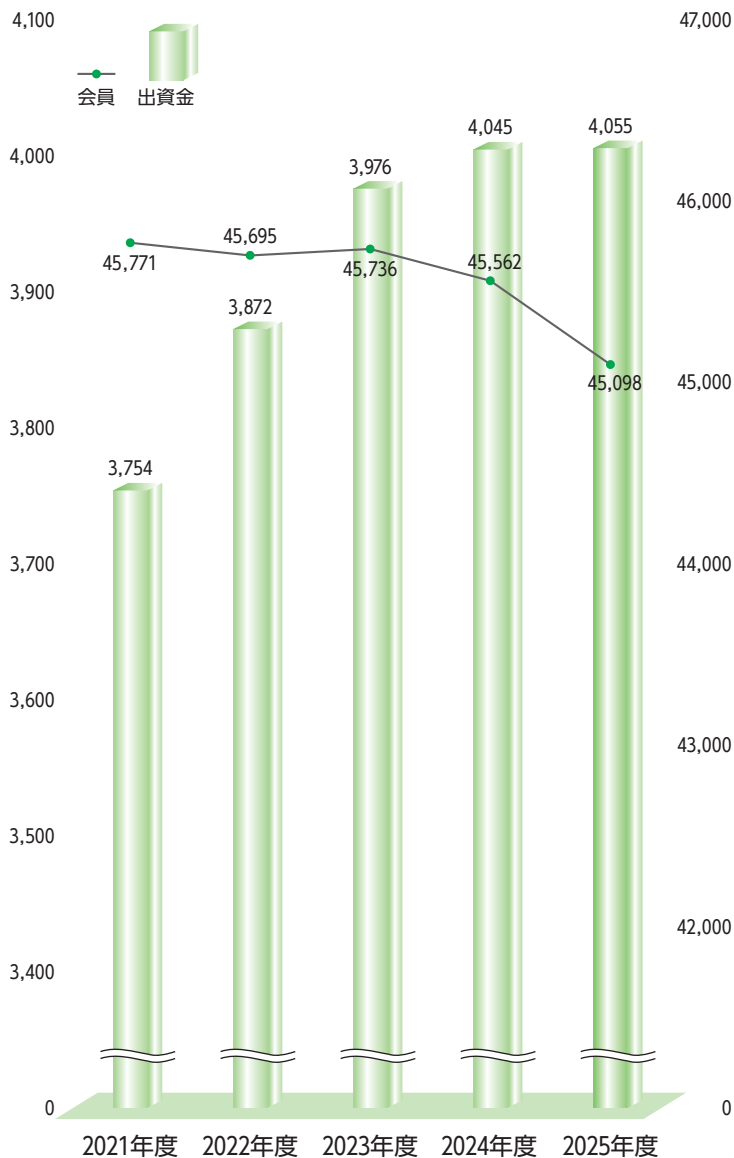
(2026年3月31日現在)



業務の概況

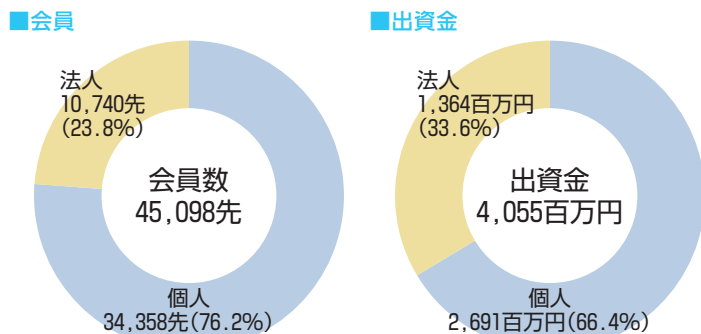
会員・出資金の推移

(単位:百万円,先)



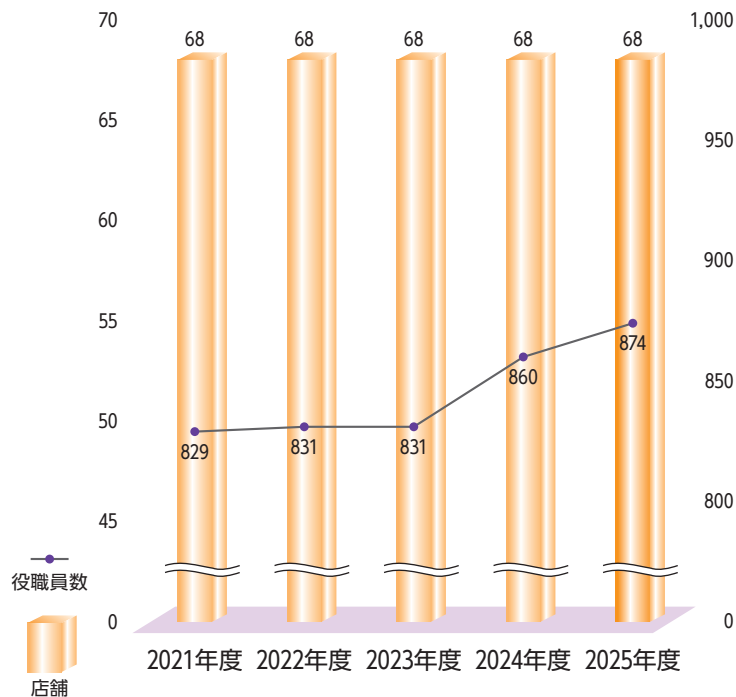
会員・出資金の構成

(2026年3月31日現在)



店舗数・役職員数の推移

(単位:店舗,人)



自己資本比率

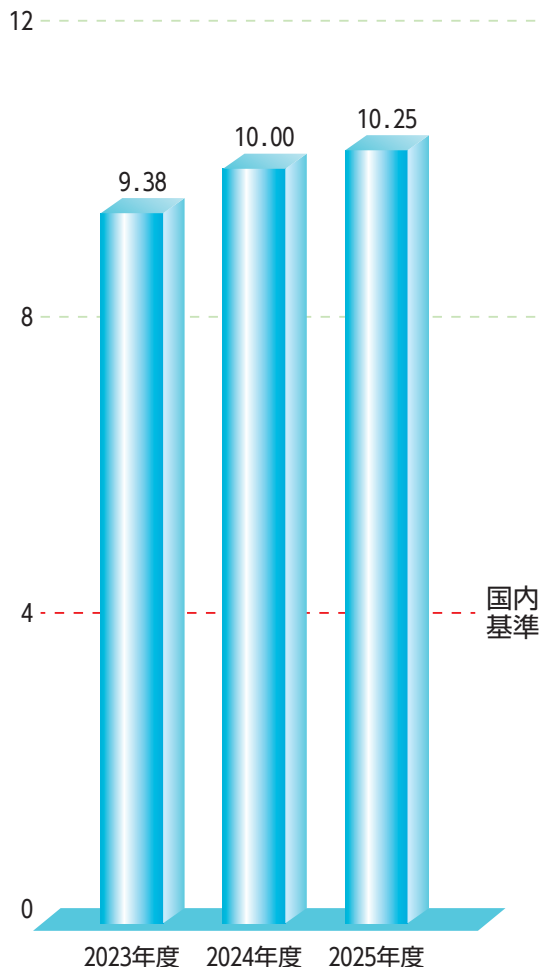
自己資本比率とは、金融機関が保有する「資産」に対する「自己資本」の割合のことで、金融機関の健全性、安全性を示す指標のひとつです。

信用金庫のように国内で業務を行う金融機関は、資産に対して4%以上の自己資本を保有することが義務づけられています。

当金庫では、今後とも経営の健全性を維持していくため収益力の強化に努め、自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率の推移

(単位: %)



自己資本比率 (単体)

(単位: 百万円)

項 目	2026年3月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	76,910
(会員勘定の額)	72,357
出資金および資本剰余金の額	4,055
利益剰余金の額	68,544
外部流出予定額 (△)	242
(引当金の額)	4,553
一般貸倒引当金	4,553
コア資本に係る調整項目の額 (B)	2,105
自己資本の額 (A) - (B) = (C)	74,804
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	729,370
資産 (オン・バランス) 項目等	692,862
オフ・バランス取引等項目	3,436
CVAリスク相当額を8%で除して得た額、他	677
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	32,392
自己資本比率 (C) / (D) × 100	10.25%

不良債権の状況

当金庫は、資産の健全性確保を最重要課題に掲げ、不良債権処理に対しては、融資に関する検査・監督の考え方と進め方（金融庁）等に沿った厳格な債権の自己査定を行い、さらに貸出資産等の健全化を図るため、適正な償却・引当の実施に努めています。

2026年3月末の不良債権額は、39,449百万円ですが、そのすべてが損失となるものではなく、担保・保証等及び貸倒引当金により保全されている部分が35,933百万円あり、保全率は91.08%となっています。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況(単体)

(単位:百万円)

区 分	2024年度	2025年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,096	3,914
危険債権	32,069	33,550
要管理債権	3,446	1,984
三月以上延滞債権	22	31
貸出条件緩和債権	3,424	1,953
小計(A)	39,612	39,449
保全額 (B)	36,043	35,933
個別貸倒引当金 (C)	7,830	7,619
一般貸倒引当金 (D)	509	288
担保・保証等 (E)	27,703	28,025
保全率 (B) / (A)	90.99%	91.08%
引当率 ((C) + (D)) / ((A) - (E))	70.03%	69.22%
正常債権 (F)	712,945	718,140
総与信残高 (A) + (F)	752,557	757,589

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

貸借対照表

2026年3月31日現在

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現金	10,587
預 け 金	149,478
買 入 金 債 権	1,087
金 銭 の 信 託	14,330
商 品 有 価 証 券	—
有 価 証 券	387,760
国 債	219,179
地 方 債	5,723
社 債	31,531
株 式	30,486
そ の 他 の 証 券	100,838
貸 出 金	756,463
割 引 手 形	696
手 形 貸 付	17,649
証 書 貸 付	713,284
当 座 貸 越	24,832
外 国 為 替	257
外 国 他 店 預 け	111
買 入 外 国 為 替	—
取 立 外 国 為 替	145
そ の 他 資 産	11,551
未 決 済 為 替 貸	345
信 金 中 金 出 資 金	6,483
未 収 収 益	1,729
金 融 派 生 商 品	0
そ の 他 の 資 産	2,992
有 形 固 定 資 産	24,393
建 物	6,246
土 地	16,423
建 設 仮 勘 定	2
その他の有形固定資産	1,720
無 形 固 定 資 産	2,105
ソ フ ト ウ ェ ア	2,062
その他の無形固定資産	43
債 務 保 証 見 返	358
貸 倒 引 当 金	△12,191
(うち個別貸倒引当金)	(△7,638)
資 産 の 部 合 計	1,346,182

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	1,247,869
当 座 預 金	37,534
普 通 預 金	515,702
貯 蓄 預 金	417
通 知 預 金	282
定 期 預 金	665,373
定 積 預 金	21,589
そ の 他 の 預 金	6,968
借 入 金	—
借 入 金	—
そ の 他 の 負 債	4,807
未 決 済 為 替 借	437
未 払 補 填 備 用 金	1,739
給 付 補 填 備 用 金	70
未 払 法 人 税 等	225
前 受 収 益	106
職 員 預 り 金	—
融 派 生 商 品	0
金 払 未 済 品	39
そ の 他 の 負 債	2,188
賞 与 引 当 金	751
役 員 賞 与 引 当 金	107
退 職 給 付 引 当 金	3,392
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,108
債 務 保 証 損 失 引 当 金	3
偶 発 損 失 引 当 金	713
睡眠預金払戻損失引当金	17
繰 延 税 金 負 債	2,767
債 務 保 証	358
負 債 の 部 合 計	1,261,896
(純資産の部)	
出 資 金	4,055
普 通 出 資 金	4,055
資 本 剰 余 金	—
資 本 準 備 金	—
利 益 剰 余 金	68,544
利 益 準 備 金	4,045
そ の 他 利 益 剰 余 金	64,498
特 別 積 立 金	56,705
当 期 未 処 分 剰 余 金	7,793
会 員 勘 定 合 計	72,599
その他有価証券評価差額金	11,685
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	—
評価・換算差額等合計	11,685
純 資 産 の 部 合 計	84,285
負債及び純資産の部合計	1,346,182

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

2025年4月1日～2026年3月31日まで

科 目	金 額	千円
経 常 収 益	27,295,854	
資金運用収益	21,665,405	
貸出金利息	14,048,796	
預け金利息	774,216	
コールローン利息	—	
有価証券利息配当金	6,688,882	
その他の受入利息	153,510	
役務取引等収益	1,693,093	
受入為替手数料	530,583	
その他の役務収益	1,162,509	
その他業務収益	2,227,903	
外国為替売買益	18,702	
商品有価証券売買益	—	
国債等債券売却益	2,108,283	
国債等債券償還益	2,707	
金融派生商品収益	—	
その他の業務収益	98,209	
その他経常収益	1,709,452	
貸倒引当金戻入益	—	
償却債権取立益	6,549	
株式等売却益	1,174,569	
金銭の信託運用益	516,725	
その他の経常収益	11,608	
経 常 費 用	24,577,467	
資金調達費用	2,299,148	
預金利息	2,236,093	
給付補填備金繰入額	56,137	
譲渡性預金利息	—	
借用金利息	28	
コールマネー利息	9	
その他の支払利息	6,879	
役務取引等費用	1,051,417	
支払為替手数料	174,432	
その他の役務費用	876,984	
その他業務費用	7,836,723	
商品有価証券売買損	—	
国債等債券売却損	7,834,865	
国債等債券償還損	—	
国債等債券償却	—	
その他の業務費用	1,858	
経 費 用	12,701,308	
人件費	7,226,698	
物件費	4,730,238	
税金	744,371	

科 目	金 額	千円
その他経常費用	688,869	
貸倒引当金繰入額	215,580	
貸出金償却	—	
株式等売却損	168,577	
株式等償却	—	
金銭の信託運用損	89,005	
その他資産償却	—	
その他の経常費用	215,706	
経 常 利 益	2,718,387	
特 別 利 益	6,316	
固定資産処分益	6,316	
その他の特別利益	—	
特 別 損 失	39,472	
固定資産処分損	35,503	
減損損失	3,969	
その他の特別損失	—	
税引前当期純利益	2,685,231	
法人税、住民税及び事業税	543,089	
法人税等調整額	79,646	
法人税等合計	622,736	
当期純利益	2,062,495	
繰越金（当期首残高）	5,731,322	
当期末処分剰余金	7,793,817	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第96期剰余金処分計算書

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	7,793,817,468
これを次のとおり処分いたします。	
剰 余 金 処 分 額	1,251,814,765
利 益 準 備 金	9,435,750
普通出資に対する配当金	(年6%) 242,379,015
特 別 積 立 金	1,000,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	6,542,002,703

なお、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、当金庫第96期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書（会計に関する部分）については、会計監査人太陽有限責任監査法人の監査を受け、適法である旨の監査報告を受けています。

会 長	和 田 長 平
理 事 長	和 田 高 広
専 務 理 事	尾 崎 嘉 則
常 務 理 事	宮 崎 八千代
理 事	立 花 潤
理 事	郷 佳 也
理 事	田 村 千 加
理 事	高 濱 秀 輔
理 事	橋 田 雅 史
非常勤理事	高 野 勝
監 事	宮 阪 隆 彦
監 事	岸 本 芳 彦
非常勤監事	杉 山 正 幸
非常勤監事	土 部 英 一

- ※1 理事 和田長平、郷佳也、高野勝は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
- ※2 監事 宮阪隆彦、土部英一は信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

総代会に関する事項

2025年6月13日 第95期通常総代会

報告事項

- ・第95期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件
- ・店頭サービスお客様アンケート結果報告の件

決議事項

- | | |
|-------|------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分案承認の件 |
| 第2号議案 | 会員除名の件 |

登記事項

- 2025年4月2日 出資総口数(80,917,265口)及び出資総額(4,045,863,250円)の変更登記
- 2025年9月9日 支配人選任登記

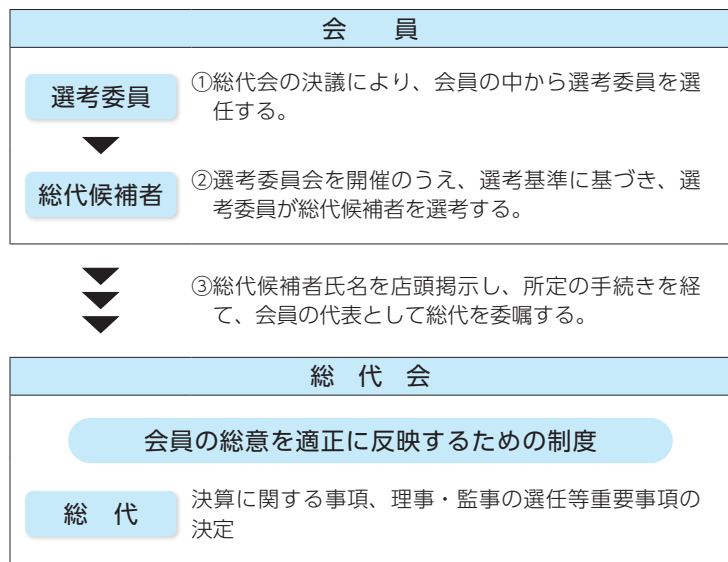
総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加していただくこととなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では総代会に限定することなく、顧客アンケートや総代懇談会を実施するなど、日頃の事業活動を通じて、総代や会員の皆さまとのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

総代会のしくみ



内部統制システムの運用状況の概要

当事業年度における内部統制システムの運用状況の概要は次のとおりです。

1. 理事及び職員の職務執行が法令等に適合することを確保するための取組み（コンプライアンスに対する取組み）
 - ①コンプライアンスを経営上の最重要事項の一つとして位置づけ、法令等遵守態勢の強化、整備に努めております。コンプライアンス委員会は12回開催し、コンプライアンス・プログラム進捗状況の協議やマネー・ローndリング・テロ資金供与・拡散金融対策（以下、「マネロン等対策」といいます。）関連の対応について決議しております。また、行動指針を新設し全役職員に周知致しました。
 - ②コンプライアンスに関する役職員向け研修を職階別に18回実施、本部職員、営業店内勤職員向けにも研修を実施し、全役職員がコンプライアンスに関する研修を受講しております。また、マネロン等対策に関する研修を、役員向けに実施、その他職階別に11回実施しております。
 - ③コンプライアンス意識の徹底、マネロン等対策に関する実効性確認のため、営業店（65店舗）への臨店を実施しました。
 - ④マネロン・テロ資金供与対策会議を11回開催し、マニュアル、リスク評価書の改訂・策定を行い、各種諸施策を講じ態勢を整備しました。また、高齢者の詐欺被害低減のためATMでの出金制限も追加致しました。
2. 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に対する取組み
理事会の議事録は「理事会規程」に基づき作成し、適切に保存・管理しています。
3. 当金庫の損失の危機の管理に対する取組み（リスク管理に対する取組み）
リスク管理態勢を委員会と評議会に分け、委員会は統合的リスク管理委員会、コンプライアンス委員会、評議会を信用リスク・資産査定管理評議会、オペレーショナル・リスク管理評議会、市場・流動性リスク管理評議会とし、各委員会及び各評議会の権限と機能を明確にしてリスク管理態勢を整え、より深度のあるリスク管理が行えるよう取り組んでおります。なお、市場・流動性リスク管理においてミドル部門を総合資金部から分離してリスク統括部とし、相互牽制の強化を図っております。
当事業年度において、統合的リスク管理委員会を12回開催し、主な事項としては、各種規程・マニュアルの改訂、自己資本配賦、余資運用基準の協議等を行っております。その他、信用リスク・資産査定管理評議会を21回開催、オペレーショナル・リスク管理評議会を12回開催、市場・流動性リスク管理評議会を12回開催しております。
監査部は、企業革新部、研修部、事業支援部、国際部及び営業店56ヵ店（部分監査含む）を対象とする定例監査、登録金融機関業務、統合的リスク管理・自己資本管理態勢、顧客保護管理、マネロン・テロ資金供与・拡散金融対策、サイバーセキュリティリスク管理の特定監査、不祥事件発生防止の観点から全営業店を対象とする特別監査を行い、結果を理事会に報告しております。
4. 理事の効率的な職務執行に対する取組み
理事会を月2回開催しており、当事業年度においては25回開催し、経営計画及び業務方針等を決定しております。
5. 金庫グループのリスク管理に対する取組み
当金庫の理事及び部長並びに子法人等の代表取締役を構成員とする役員・本部長合同会議を年12回開催し、経営上の課題等について協議するとともに、子法人等の取締役等の職務執行の状況など経営上の重要な事項について報告を受けております。
6. 監事への報告に対する取組み
監査部が行った営業店監査、本部監査における監査結果について、その都度監事へ報告しております。また、「通報・相談窓口」への内部通報の状況については、リスク統括部が監事へ報告しております。

取引先支援・地域貢献活動

当金庫では、多くのお客さまにご利用いただく金融機関として、お取引先の皆さまの支援や、地域の皆さまのお役に立てる活動に取り組んでいます。

今後も、地域社会の一員としての責任を積極的に果たすことにより、よりよい社会づくりに貢献し、地域の皆さまとのかかわりを大切にしていきたいと考えています。

◆ ばんしん経営塾の開催

お取引先の経営支援の一環として、お取引先の経営者の皆さまを対象とした「経営研究会」、また、お取引先の後継者・若手経営者の皆さまを対象とした「後継者コース」の2コースにて、「ばんしん経営塾」を開催しています。

当塾は経営に関する幅広い知識を身につけていただくとともに、受講者同士の親睦も図っていただけるよう宿泊研修等も行い、幅広い人脈づくりや異業種交流の場を提供しています。



◆ 新時代経営研究会の開催

お取引先の経営者の皆さまを対象に、経済情勢等の最新情報を提供する場として「ばんしん新時代経営研究会」を年2回開催しています。2025年度は下記の講演会を開催しました。

● 2025年7月17日

「今後の政治経済の展望

～報道から見たこれからの日本の姿～」

政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏

● 2026年2月6日

「国際社会の中にある日本の課題

～グローバル社会に学ぶ～」

同志社大学法学部教授 村田 晃嗣氏



◆ 文化講演会の開催

例年、経済・政治・文化等多岐にわたる分野の専門家・評論家等著名な講師を招き、文化講演会を開催しています。2025年度は、ジャーナリスト池上 彰氏をお招きし、「ニュースから世界と日本経済が見える」をテーマに講演していただきました。



◆ 各種セミナーの開催

お取引先の皆さまへの情報発信の一環として、各種講演会やセミナーを定期的に開催しています。

● 業種別講演会

業界特有の最新動向や経営戦略などの情報を提供する業種別講演会を計4回開催しました。

◆ 清掃活動の実施

信用金庫業界では、「信用金庫法」が昭和26年6月15日に公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定めています。

当金庫は「信用金庫の日」の取り組みとして、地域への感謝の気持ちを込めて、役職員による店舗周辺の清掃活動を実施しました。

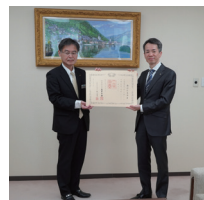


◆ 紺綬褒章の受章について

当金庫では、震災の経験や教訓を未来に継承し、震災を風化させないために、2025年1月17日から「阪神・淡路大震災30年つなぐmirai」定期預金を発売し、預入額の0.04%相当額（上限1,000万円）を、当金庫が拠出し、2025年3月31日に兵庫県の防災、減災にかかる事業へ1,000万円を寄附いたしました。

この度、兵庫県へ寄附したことが評価され、内閣府より紺綬褒章を受章し、2026年3月27日に章記を授与されました。

尚、寄附金につきましては、災害派遣車の購入、人と防災未来センターの展示物の充実に使われております。



◆ 相続セミナーの開催

当金庫では、相続に関する基本的な知識や役立つ情報を提供し、お客さまにとって良きパートナーとなれるよう、2025年4月18日（金）に神戸本部、4月25日（金）に本店にて、お客さま向け「相続セミナー」を開催いたしました。

当日は、外部講師をお招きし、「相続の基本」および「相続対策」について講演を行い、多くのお客さまにご好評をいただきました。



SDGsへの取り組みについて

“ばんしん”は、経営理念に掲げる「地域の皆様に奉仕すること」の精神のもと、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を私たちの企業行動に繋げ、地域の社会的課題の解決と経済成長の両立を図り、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



取引先支援・地域貢献活動

◆「ばんしん」スポーツアカデミー」の開催

スポーツを通じた地域貢献活動への取り組みとして、姫路市を中心に活動する女子サッカーチーム・A Sハリマアルビオン（なでしこリーグ1部所属）と協力し、子どもたちに体を動かすことの楽しさを広め、子どもたちの運動能力と可能性を引き出すことを目的として、幼稚園児・小学生を対象とした「ばんしん」スポーツアカデミー」を開催しています。

当金庫の職員で、A Sハリマアルビオンに所属する正野可菜子選手もコーチとして参加し、サッカーを指導しながら、地域の子どもたちとの交流を深めました。



◆ インターンシップの受け入れ

毎年、大学生を対象とした企業実習（インターンシップ）を行っており、2025年度は、23大学38名の学生を受け入れ、信用金庫の業務を体験していただきました。



◆ 小学生の職場体験学習の受け入れ

地域の明日を担う子どもたちの金融教育の一環として、小学生の職場体験学習に協力しています。2025年度は、香寺支店へ香呂小学校、小野支店へ小野東小学校、明石支店へ人丸小学校、今宿支店へ高岡小学校、揖保川支店へ神部小学校、船場支店に船場小学校の児童が訪れ、店舗内の見学や職員へのインタビュー等を行い、信用金庫の仕事や役割を学んでいただきました。



◆ 景況レポートの発行

営業地域内の景気動向を把握し、景気に関する情報提供を行うことを目的として、お取引先企業のご協力のもと四半期ごとに景気動向調査を行い、その結果を「ばんしん景況レポート」として公表しています。なお本レポートは、当金庫のホームページからもご覧いただけます。

お客さま満足度向上に向けた取り組みについて

当金庫では、毎年、営業店の窓口において「店頭サービスお客さまアンケート」を行っています。2026年2月に実施したアンケートでは、4,765名の方からご回答をいただきました。

皆さまより頂戴した貴重なご意見、ご要望のひとつひとつを真摯に受け止め、業務改善・対応に活かしてまいります。

◆ 各種研修会の開催

当金庫では、お客さまの多様なニーズに的確にお応えできるよう、職員の職階別、夜間・土曜日講座等の集合研修を実施するとともに、専門的な知識の習得を目的として、外部団体が主催する各種研修にも職員を積極的に派遣し、人材の育成に取り組んでいます。



◆ 高齢者の見守り活動を実施

行政機関と連携して、高齢者の見守り活動を積極的に実施しています。現在まで下記地域と「地域見守り活動に関する協定」を締結しています。

（兵庫県、姫路市、神戸市、宝塚市、たつの市、上郡町、加古川市、相生市、加西市、福崎町、稲美町、西脇市）

◆ 地域に密着した情報の発信

機関紙「ばんしん」・播州信用金庫公式Instagramにて、当金庫エリア内の情報や当金庫取引先のご紹介、キャンペーンのお知らせ等地域に密着した情報をお届けしています。

◆ 金融犯罪防止への取り組み

当金庫では、2025年度、下記の3店舗において、特殊詐欺被害を未然に防止したとして、警察署より感謝状を拝受しました。

●2025年5月
飾磨・市場支店



●2025年9月
神戸西支店

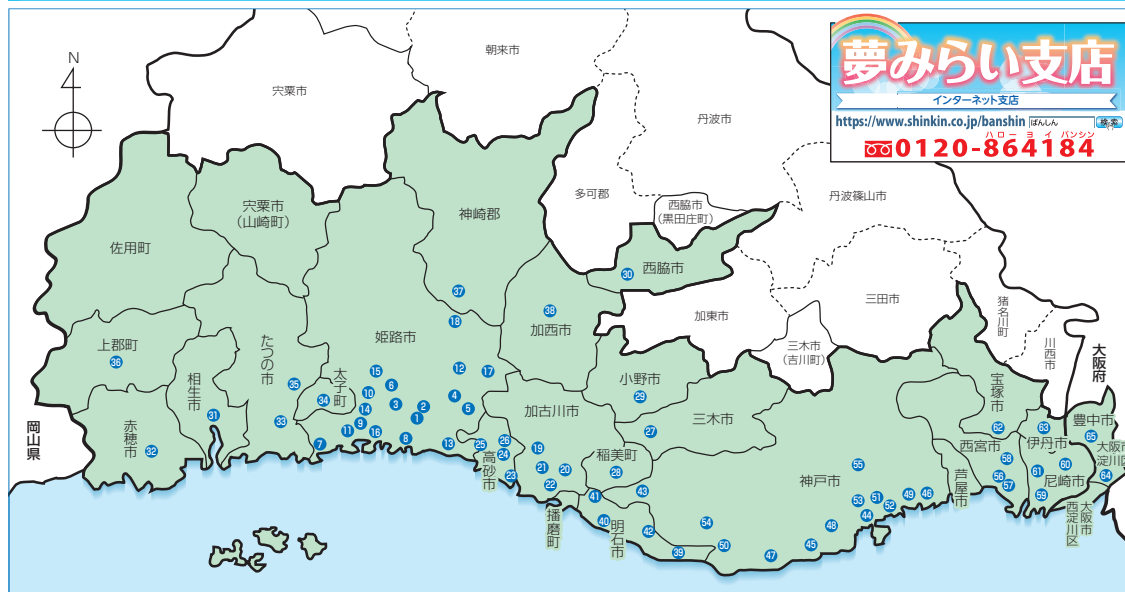


●2025年10月
相生支店



営業地区及び店舗一覧

2026年5月31日現在



- 本店営業部JR姫路駅出張所
●駅前支店キャスパ出張所
●駅前支店ターミナル出張所
●駅前支店テラッソ姫路出張所
●船場支店西出張所
●飾磨支店イオンモール姫路リバーシティ出張所
●飾磨支店マルアイ亀山店出張所
●飾磨支店姫路中央病院出張所
●英賀保支店英賀春日町出張所
●今宿支店ゆめタウン姫路出張所
●広畑支店イオンモール姫路大津出張所
●青山支店姫路赤十字病院出張所
●御立支店コープ寺出張所
●相生支店コープデイズ相生出張所
●相生支店コープ相生東出張所
●相生支店H-I播磨病院出張所
●赤穂支店主婦の店赤穂店出張所
●播保川支店マックスバリュ播保川店出張所
●福岡支店銀ビル出張所
●福岡支店市川町文化センター出張所
●土山支店ドライブインながさわ出張所
●三宮支店地下出張所
●尼崎支店あまがさきキューズモール出張所
- 〈店舗外ATMコーナー〉

NETWORK

姫路地区	1	本店	670-0962	姫路市南駅前町110番地	079-281-4534 (通商)
	2	駅前支店	670-0927	姫路市駅前町333番地	079-222-7101
	3	船場支店	670-0043	姫路市小姓町85番地1	079-298-5101
	4	野里支店	670-0871	姫路市伊伝居38番地の15	079-281-5201
	5	東支店	670-0835	姫路市幸町16番地	079-224-1187
	6	北支店	670-0876	姫路市西八代町8番21号	079-291-2515
	7	網干支店	671-1234	姫路市網干区新在家1412番地の5	079-272-4556
	8	飾磨支店	672-8052	姫路市飾磨区玉地1丁目123番地	079-235-4911
	9	英賀保支店	672-8092	姫路市飾磨区英賀春日町2丁目4番17	079-237-2333
	10	今宿支店	670-0057	姫路市北今宿2丁目1番15号	079-293-2231
	11	広畑支店	671-1121	姫路市広畑区東新町1丁目7番地1	079-239-4047
	12	保城支店	670-0805	姫路市西中島283番地9	079-281-3731
	13	白浜支店	672-8023	姫路市白浜町甲2220番地1	079-245-1251
	14	青山支店	671-2222	姫路市青山5丁目1番1号	079-267-2431
	15	御立支店	670-0074	姫路市御立西5丁目14番50号	079-295-8833
	16	飾磨西支店	672-8079	姫路市飾磨区今在家2丁目3番地	079-235-7801
	17	花田支店	671-0255	姫路市花田町小川49番地の1	079-252-8601
	18	香寺支店	679-2143	姫路市香寺町中仁野307番地1	079-232-8611
東播地区	19	加古川支店	675-0066	加古川市加古川町寺家町600番地	079-423-3131
	20	東加古川支店	675-0101	加古川市平岡町新在家3丁目288番地の13	079-423-2312
	21	野口支店	675-0017	加古川市野口町良野52番地1	079-427-8711
	22	別府支店	675-0122	加古川市別府町別府713番地の3	079-435-9911
	23	高砂支店	676-0064	高砂市高砂町北本町1136番地	079-442-4101
	24	荒井支店	676-0011	高砂市荒井町小松原2丁目14番19号	079-443-2201
	25	伊保支店	676-0076	高砂市伊保崎4丁目2番35号	079-448-2501
	26	宝殿支店	676-0805	高砂市米田町米田306番地3	079-431-8883
	27	三木支店	673-0403	三木市末広2丁目5番6号	0794-83-6700
	28	稲美支店	675-1115	加古郡稲美町国岡6丁目191番地	079-492-9011
	29	小野支店	675-1332	小野市町中野318番地1	0794-62-1584
	30	西脇支店	677-0054	西脇市野村町1795番地の186	0795-23-3984

西播地区	31	相生支店	678-0031	相生市旭4丁目10番24号	0791-22-1030
	32	赤穂支店	678-0239	赤穂市加里屋67番地6	0791-42-0881
	33	播保川支店	671-1643	たつの市播保川町神戸北山107番地4	0791-72-4641
	34	太子支店	671-1524	揖保郡太子町東保325番地1	079-276-3033
	35	龍野支店	679-4129	たつの市龍野町堂本11番地15	0791-63-1512
地区北	36	上郡支店	678-1232	赤穂郡上郡町竹万2168番地	0791-52-7564
	37	福岡支店	679-2204	神崎郡福岡町西田原1370番地10	0790-22-0888
	38	北条支店	675-2311	加西市北条町横尾1233番地	0790-42-0006
明石地区	39	明石支店	673-0845	明石市太寺2丁目14番5号	078-918-0101
	40	二見支店	674-0092	明石市二見町東二見509番地の5	078-941-0701
	41	土山支店	674-0074	明石市魚住町清水2156番地の1	078-942-3788
	42	西明石支店	673-0016	明石市松の内2丁目8番地の14	078-924-2477
	43	大久保支店	651-2411	神戸市西区上新地1丁目2番3号	078-967-5862
神戸地区	44	三宮支店	650-0021	神戸市中央区三宮町1丁目1番3号	078-393-2311
	45	兵庫支店	652-0801	神戸市兵庫区中道通5丁目2番7号	078-577-1171
	46	東灘支店	658-0016	神戸市東灘区本山中町3丁目2番3号	078-451-3181
	47	神戶西支店	654-0026	神戸市須磨区大池町4丁目1番37号	078-735-3281
	48	平野支店	652-0008	神戸市兵庫区上祇園町3番1号	078-361-3741
	49	本山支店	658-0081	神戸市東灘区田中町1丁目13番8号	078-412-2301
	50	垂水支店	655-0881	神戸市垂水区東垂水町菅ノ口633番地の1	078-751-9051
	51	灘支店	657-0831	神戸市灘区水道筋1丁目6番地の3	078-802-8788
	52	六甲支店	657-0035	神戸市灘区友田町2丁目7番22	078-843-9870
	53	三宮北支店	651-0092	神戸市中央区生田町1丁目4番1号 ショタ2ビル内1階	078-261-3678
	54	神南支店	651-2243	神戸市西区井吹台西町1丁目1番3号	078-997-9722
	55	谷上支店	651-1245	神戸市北区谷上東町8番29号	078-586-3939
阪神地区	56	西宮支店	662-0971	西宮市和上町1番27号	0798-22-7321
	57	今津支店	663-8233	西宮市津門川町12番11号	0798-26-9601
	58	西宮北支店	663-8016	西宮市若山町11番6号	0798-63-5800
	59	尼崎支店	660-0892	尼崎市東灘波町5丁目18番10号	06-6489-9611
	60	塚口支店	661-0002	尼崎市塚口町3丁目39番地1	06-6426-3984
	61	立花支店	660-0053	尼崎市南七松町1丁目1番1号	06-6418-5151
	62	宝塚支店	665-0034	宝塚市小林4丁目7番72号	0797-72-3466
	63	伊丹支店	664-0851	伊丹市中央3丁目5番14号	072-772-9199
	64	淀川支店	532-0025	大阪市淀川区新北野1丁目8番19号 朝日生命十三新北野ビル2階	06-6195-2662
	65	豊中支店	561-0881	豊中市中校家3丁目2番36号 オージー豊中ビル2階	06-6151-3181